

計算機科学実験及び演習 4 データベース 報告書

栗納 裕貴
(学籍番号: 00000000000)

提出日: 平成 25 年 12 月 13 日

1 システム概要

システムの説明. どのような機能を実装したか. 課題 1 で提出した内容からの変更点などがあればそれを書く.

2 実体関連図

実体関連図とその説明.

3 関係スキーマ

関係スキーマとその説明. データの一部 (先頭の数行分など) を例として示す.

4 機能・インタフェース

各機能および対応するインタフェースの説明を行い, 典型的な状態のブラウザ画面キャプチャ図を付ける. それぞれの画面でどのテーブルが関係しているか, 発行される SQL 文の例などを記載する. 各機能ごとに小節 (subsection) を作って記載するとよい.

なお, LaTeX においてブラウザ画面のキャプチャ図を挿入するには, 例えば以下のような方法がある.

1. 画像の保存

[PrintScreen] キー (アクティブなウィンドウのみをキャプチャするには [Alt]+[PrintScreen] キー)¹を押し, 画像ビューア/エディタ (GIMP や IrfanView 等を用いることができる) に貼り付け ([Ctrl]+[V]), PNG 形式で保存する². ここで保存された画像を sample.png とする.

2. バウンディングボックスファイルの作成

sample.png を保存したディレクトリにて以下のコマンドを実行し, sample.bb ファイルを作成する.

¹キーボードによっては [PrtSc] となっている.

²EPS 形式で保存可能な場合は EPS 形式を用いるとよい. EPS 形式の場合, バウンディングボックスファイルの作成は不要となる.



図 1: サンプル.

ebb sample.png

3. 画像の挿入

.png ファイルおよび.bb ファイルを同一のディレクトリに配置し，以下のような記述を用いて図を挿入する．挿入された図のサンプルは図 1 のようになる．

```
\begin{figure}[tp]
\begin{center}
\includegraphics[scale=0.8]{sample.png}
\end{center}
\caption{サンプル. }
\label{fig:sample}
\end{figure}
```

PNG 画像を取り込んだ PDF ファイルの作成には dvipdfmx コマンドを用いるとよい．

5 工夫点

工夫した点、エラー処理、SQL 文に関する工夫、索引の利用、ビューの利用、トランザクション処理など。

6 感想

システム開発に関する感想、および本演習全体に関する感想・意見。